

令和6年3月22日

埼玉県トラック協会 川越支部

支部長 鈴木 孝明 様

埼玉県トラック協会川越支部
青年部会長 野坊戸 薫



研修報告書

参加者：野坊戸 薫、粕谷 太郎、笹沼 祐也、養田 省吾、阿部 竜也
早川 一輝、小野 裕介、山本 大輔 以上 8 名（敬称略）

日程：令和 6 年 2 月 24 日（土）

14：00 ～

千葉県市川市二俣717番地5

トヨタL&Fカスタマーズセンター東京 見学

目的：参加者各自が、自社の物流に関して現状、問題点がどこにあるのか、また当該問題に対する改善方法など、物流改善のヒントを見付けるきっかけとし、自社に持ち帰り実践することで会員各社の益々の発展に寄与することを目的とする。

埼玉県トラック協会川越支部様にご支援いただき、また、トヨタL&Fカスタマーズセンター東京様にご協力いただき、今回の研修旅行を成功裏に終えることができましたこと感謝申し上げます。

成果・所感：別紙のとおり

今回、トヨタL&Fカスタマーズセンター東京の工場見学をさせていただきました。



まずはシアタールームにて映像、ナレーションを用いて当センターが見学ツアーを実施する趣旨や、またツアー参加者にどの様にアテンドしていくのかを解説。

コンサルティングシアター

導入事例コーナー



コンサルティングシアター、導入事例コーナーを通り、道場に到着。

安全道場



訓練道場



安全道場では、資格が見える化することで誰が休んだら人員をどの様に配置するのが効率的かつ安全に作業が行えるかなどを誰が見ても一目瞭然にしておくことや、不安全な服装や作業スタイルなどをマネキンや実際の作業場を模したスペースを用いて視覚的に訴えるなど、労働災害をいかに発生させない様にしていくかという同社の取り組みなどを学んだ。

また、東京の安全道場では写真やマネキン等の展示のみであったが、愛知では実際に安全道場を体験できるとのこと。是非体験してみたかったが残念、いつか愛知県に足を運ぶ機会があれば体験してみたいと思わせられた。

訓練道場では、実際に簡単な作業を、行う内容のみ聞かされた状態で時間を計測しながら行い、次にコツを教えていただいた状態で実施。

コツを知っているだけで如何に作業効率が上がるのか、従業員に作業させるにあたってしっかりポイントを伝えておくことの重要性を学んだ。

ちなみに、当該作業を規定秒数以内に行うと景品が頂けたのだが、今回は目標に届かず景品を頂くことはできず残念。

続いて保管スペースへ移動し、倉庫での貨物保管方法の提案やキーカートを用いた、荷物の庫内自動搬送などを見学した。機械化することでかなりの高さまで荷物を積み上げることも可能となり、天井の高い倉庫のスペース有効活用にも繋がりそうである。



また、ピッキングさえすれば折りコンをアドレスごと仕分けしてくれる装置や、バーコードの読み込みだけ行えば自動で仕分けをしてくれる立体型ソーターなどのセミオートメーションシステムのほか、ロボットによるコンテナからの荷下ろし、仕分け、保管、ピッキングからパレットへの自動積み付けやコンテナへの積み込みまでも行ってくれるフルオートメーションシステムなどを見学させて頂いた。

ここまでくると莫大な設備投資が必要となり、我々中小企業ではおいそれと導入できるものではないと感じてしまったが、騒がれて久しいまだまだ進んでいく業界の人員不足に対応するには、ある程度の機械化は必要であると感じた。



今回我々は、新たな機器や設備、また災害防止に係る取り組みの事例などを見学させていただくことで、各自物流改善のヒントを得ることができました。

今回学んだことを各自会社へ持ち帰り、導入できることは導入し、見直すべきは見直しを行い、安全かつ発展していく会社作りに繋げていこうと誓いを新たにしました。

今回貴重な研修旅行を行うことができ、ご支援頂きました埼玉県トラック協会川越支部様をはじめ、見学ツアーの予約・調整、当日のアテンドにご協力くださいましたトヨタL&F埼玉 株式会社の狭山日高営業所 所長 藤山 正太 様、販売係の中野 竜之介 様、また、貴重なお時間を割いて見学させていただきましたトヨタL&Fカスタマーズセンター東京の皆様、その他関係各所の皆様に心より御礼申し上げます。



← 参加者集合写真